

高蔵寺スマートシティプロジェクト(高蔵寺スマートシティ推進検討会)

■ 成熟した資産を活かしつつ、新たなモビリティサービスの導入などにより、新たな若い世代への居住促進と全ての住民への安らぎを提供し続けることで、持続可能で暮らしやすいまちの実現を目指す。



■ 本事業全体の概要

・高蔵寺ニュータウンをフィールドに、モビリティ施策を中心とする8つのプロジェクトを各ステークホルダーと連携しながら推進。

【高蔵寺スマートシティプロジェクト】

- ① 限定区域内ラストマイル自動運転
- ② タクシー高度利用(相乗り等)
- ③ 基幹交通の自動運転化検討
- ④ 駐車場車室マネジメント
- ⑤ スマートメーターによる地域見守り
- ⑥ ゴミ収集車稼働マネジメント
- ⑦ パーソナルモビリティシェアサービス
- ⑧ 交通結節点のスマート化

■ 対象区域の概要

- 名称 高蔵寺ニュータウン
- 面積 約700ha
- 人口 42,497人 (R4.4.1現在)

■ 対象区域のビジョン

○ 新たなモビリティサービスと既存交通とのベストミックスによる快適なまち『高蔵寺ニューモビリティタウン』を目指す。



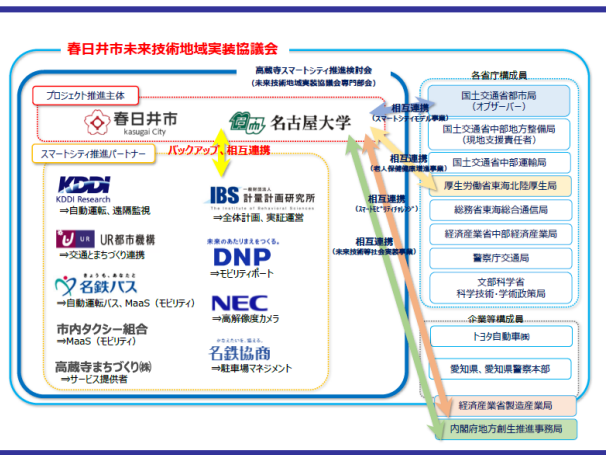
高蔵寺スマートシティプロジェクト(高蔵寺スマートシティ推進検討会)

■ スマートシティの目標(KPIの設定)

- (取り組みの効果を測定するための3つの視点)
- 1.自治体の目指す姿からのKPI
「要介護等認定率」「ニュータウンへの転入・転居者数」「戸建て住宅の空き家率」
 - 2.スマートシティプロジェクト実施からのKPI
「移動の選択肢数」「ゆっくり自動運転/相乗り・ユニバーサルタクシー利用数」
 - 3.スマートシティプロジェクトを展開するためのKPI
「地域説明会参加者数」「ホームページアクセス件数」

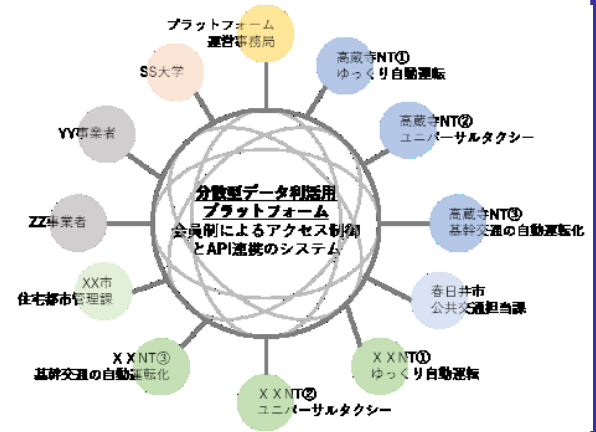
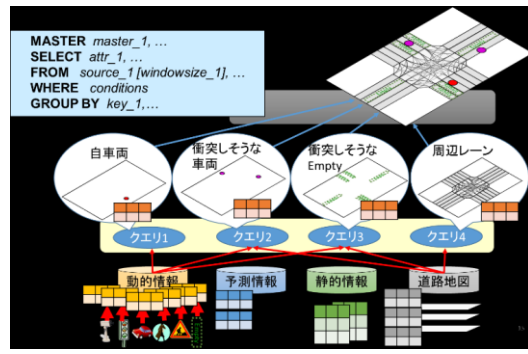
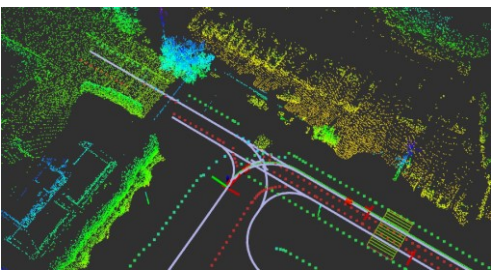
■ 運営体制

・春日井市、名古屋大学を推進主体とし、プロジェクトに応じた関係者間の連携により推進



■ 導入技術

- ・高蔵寺スマートシティプロジェクトには、自動運転や交通社会ダイナミックマップ、AIなどの先進技術を活用
- ・各プロジェクトには、分散型データプラットフォームの活用を検討



高蔵寺スマートシティプロジェクト(高蔵寺スマートシティ推進検討会)

- ・ニュータウン内の拠点施設中心に、あらゆるモビリティサービスが繋がることで、快適な移動の実現を目指す。
- ・新しいサービスと既存交通のベストミックス(モビリティ・ブレンド)による『高蔵寺ニューモビリティタウン』を実現する。

